

2025.4月号 第466号

月刊 くらしの赤信号

発行 枚方市立消費生活センター

〒573-0032 枚方市岡東町19番1号

ステーションヒル枚方6階

TEL 072・844・2433 FAX 072・843・5501

まずは電話でご相談ください

相談専用ダイヤル：072・844・2431

午前9時30分～午後4時30分(土・日・祝日、年末年始除く)

困ったら
ご相談を！

枚方市立消費生活センターへのご相談については、まずは電話でご相談ください。

季節の変わり目のクリーニング トラブルにご注意を！

衣類の切り替え時期にクリーニングのトラブルに関する相談が多く寄せられます。トラブル防止のために、店側としっかり確認をしましょう。

事例



ジャンパーを7カ月前にクリーニングに出した。すぐに引き取ったが、でき上がりの状態を確認せずにクローゼットにしまい、先月着ようとしたら、ジッパーの布地が引きつって着られる状態ではなかった。クリーニング店に伝えると「6カ月も過ぎてから苦情を言われても、引き取った後の事故によるものかクリーニング時の処理の仕方の問題かどちらか分からない」と言われた。

アドバイス

1. クリーニングトラブルは複数の要素が重なって発生することが多く、原因や責任の特定が困難です。
2. クリーニングを出す時、受け取る時には、必ず衣類の状態を店側と一緒に確認しましょう。
3. 「クリーニング事故賠償基準」を使用してトラブルの対処をする店舗もありますが、使用していない店舗もあります。利用する店舗のルールを確認しましょう。
4. 困ったときには、まずは消費生活センターに相談をしてください！



参考資料：見守り新鮮情報 第476号

* 「くらしの赤信号」は、地域啓発リーダーをはじめ市民ボランティアの方々のご協力で配布しています。



子どものボタン電池の誤飲事故に注意！



コイン形リチウム電池やボタン形アルカリ電池などを誤飲した場合、電池の放電により作り出されたアルカリによって、食道や胃などの消化管を損傷(化学やけど)する危険性があり、過去には死亡事故も発生しています。



消費者へのアドバイス

- ①ボタン電池は絶対に子どもの手が届くところに置かない
- ②ボタン電池が使用された商品は子どもの手が届くところに放置しない
- ③電池収納部やふたに破損やねじ脱落などが無いことを確認する

参考資料：くらしの危険 No. 383 独立行政法人国民生活センター



高温注意!

他にもこんな事故が起きています！



- ・使用後のヘアアイロンを浴室のドアのタオル掛けに吊るしていたところ、子どもの手にあたってやけどを負った。
- ・高さ約 30cm の台に置かれた電気ポットにつかまって立ったところ、ポットが倒れて95度の熱湯が足や腕にかかり、やけどを負った。
- ・キッチンの床に炊飯器を置いて炊いていたところ、子どもが蒸気に触ってしまい、やけどをした。

消費者へのアドバイス



- ・子どもの手の届かない場所で使用しましょう。本体が手の届かない場所にあっても、電源コードを引っ張って転倒することもあるため注意が必要です。
- ・電気ケトルやポット、炊飯器の中には、高温蒸気への対策機能(蒸気レス、蒸気カット、蒸気セーブ等)が付いている製品があるため、購入する際には、それらの表示を確認しましょう。

参考資料：くらしの危険 No. 382 独立行政法人国民生活センター
：こども安全メール from 消費者庁 Vol. 565

枚方市立消費生活センター
消費者 い や や !!
ホットライン
188番
その手はくらふん

『消費者ホットライン』は、全国共通の電話番号(188)で、消費生活センター等の消費生活相談窓口の存在や連絡先をご存知でない方に、お近くの消費生活相談窓口をご案内することにより、消費生活相談の最初の一步をお手伝いするものです。